

毎月一回十五日發行（定價一部五錢一年郵稅共五十錢）



編輯所 香野上野中
發行所 山田上野中
印刷所 清田上野中
和野校會所

講話とところへ

比喩 警句 諧語集

千葉 高島 生

◇居 睡り

先日ある處で講話會のありました時、私の話が終わつて主催者の閉會の挨拶がみますと、聴衆は席を立つて歸りかけました。處がその儘動かさず一人の老人がおりますので、私は何か質問でもあつて居残るのだらうと思つて、その熱心さに心惹かれその人の側へ行つてみました。するとどうでせう。涎を流して居睡りをして居るのでした。……居睡るの生理的の要求で仕方ない。又子守歌のやうな催眠話術にも責任はある。だから私は居睡りを咎めようとは致しませんけれど、たゞ肝をかゝれることだけは、他の方の邪魔になりますから絶対禁止と御承知願つて置きます。

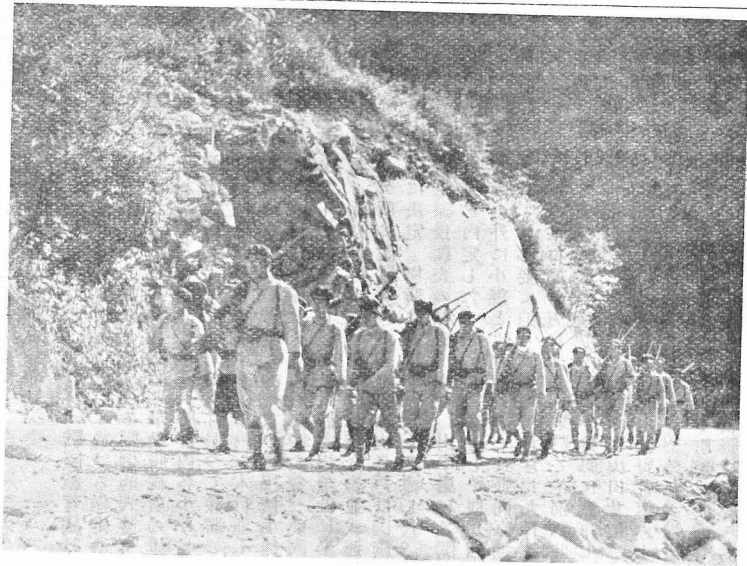
◇神主と坊主の貸借問答

ある神主が坊主に金を貸した處、いつ迄経つても返金しないので、
拂ひ給へ〜打つ相手の其の音は
高天原の利と思はず

といふ歌を作つて催促致しました。歌の意味は、金を返して呉れ〜と責めたてゝ高い利息はいらぬから、元金だけでも返して呉れと云ふのです。すると坊主は早速
釋迦牟尼は假(借)の此世と言はれけり
目蓮尊者(もう呉れん損ぢや)

◇腕前發揮

鐘紡社長津田信吾氏は「誰がやつても必ず儲かるといふやうな景氣のいゝ時代は不愉快だ。實際に事業家の腕前が發揮されるのは不景氣の時だ。僕は不景氣に



すが、之は又世間の債權者と債務者の氣持をよく言ひ現して居ると思ひます。今日の農村に於て借金とゴム靴のない家はないと言はれて居りますが、農村更生の根本は負債整理であり、問題を解決するには、この兩者の氣持を理解してかゝることが必要であります。
野外演習(菅平に向ふ) 三井篤眞撮影

◇合金經營

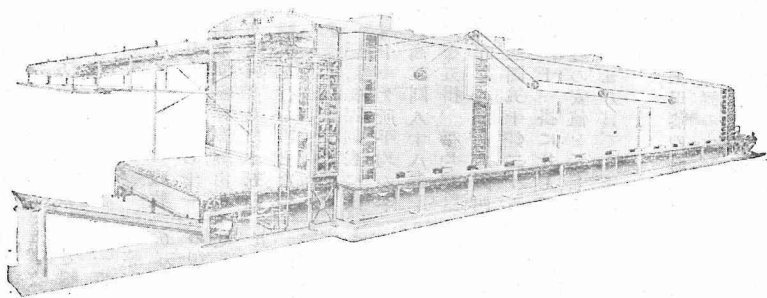
第一回文化勳章の拜授者である東北帝大總長の本多博士が、鐵の權威者であることあまりにも有名であります。が、何気なく語る博士の言葉には、味はふべきものがあります。即ち博士の申さるゝやう——あらゆる金屬は單に一つのものでは性質が定まつてゐて、決してそれ以上の働きは出来ない。處がこれを二つ以上合せて合金とすれば、性質が極めて強靱堅固となつて、色々なものに役立つ。世の中のことも皆この通りで、一人では大したことは出来ないが、大勢の人が寄つて初めて偉大な仕事が出来るといふこと。全くその通りです。特に現今の日本の困難打開には人の和、協力一致、即ち合金が必要であります。蠶絲業もその通り、單一ではならない組合せ——即ち合金經營で行かねばならないと思ひます。

◇接木雜種の研究

神奈川縣秦野町に在る國立烟草試驗場長長谷川浩博士は、數年前烟草病害豫防に烟草を茄子科植物(茄子、トマト、大ホズキ等)に接木した處、その接いだ穂が烟草の葉を立派につけ、花も變らぬものが咲きながら、分析して見るとニコチンは全然ないといふ現象を呈したので、各種類の異なる葉を接木して見たが、依然ニコチンがなく、しかも香嗅味は全然變化しないことを發見しました。逆に烟草の木に茄子科の植物を接木したら如何かと實驗して見た處、これは又立派に普通葉に含有すると同量のニコチンが茄子乃至トマトの葉の中に檢出されました。

更に又、茄子の木に接いだ烟草の木から採つた種子を蒔くと、ニコチンはまた合まれるやうになるさうであります。偶然の世界的發見で、學界の問題となつて居ます。……私はこの研究を、桑品種の改良に應用してみたら如何かと、桑品種の改良に、即ち葉質はよいが、樹性が弱いか、收穫量が少いとかいふ品種に、その反對の性質の桑を接ぐと云ふやうにしてはしないか? 蠶絲業界各方面に長足の進歩のある中、桑品種の問題だけが十年一日の如く遅々として進まないのは洵に遺憾であります。只今私の申上げたことにヒントを得て一大發見が生れることを待望して止みません。

現代乾繭機界ノ王座 大和式自動輸送乾繭機



二五九七年代表型

製作發賣元

株式會社

大和三光商會

東京京橋區京橋三丁目二番地
電話京橋(56)五三二〇番

營業課目
特許大和式自動輸送乾繭機
特許大和式自動人絹乾燥機
特許川三式乾燥機
特許やまや式ホヤ乾燥機
特許サンコー式濾過淨水器
特許サンコー式廢湯吸器
特許サンコー式高壓ポンプ
特許サンコー式

卓球部松高に遠征 卓球部は九月廿三日松本高等學校に遠征し左の戦績にて點取試合に負け勝抜試合に勝つた。

點取試合

Table with 2 columns: School names and scores. Includes entries like 松高 3, 松本 1, etc.

一人優勝勝抜試合

Table with 2 columns: School names and scores. Includes entries like 松高 3, 松本 1, etc.

競技部東京高麗に大勝 競技部は九月廿三日午前九時半より上田市營グラウンドに於て東京高麗と對抗戦を行ひ四十五對三十にて昨年と同様大勝し、午後三時半終了した。審判は芳賀、鈴木、兒玉、原の四氏を頼した。戦績は左の如くである

Table with 2 columns: School names and scores. Includes entries like 松高 3, 松本 1, etc.

三段跳(東3上3) 1、福山(東)十
二米〇七二、海野(上) 3、神崎上
△走高跳(東3上3) 1、飯田(上)一
米五八八 2、野口(東) 3、飯田(東)
△棒高跳(東2上4) 1、飯田(上)三
米A 2、野口(東) 3、神崎(上)

Table with 2 columns: School names and scores. Includes entries like 松高 3, 松本 1, etc.

Table with 2 columns: School names and scores. Includes entries like 松高 3, 松本 1, etc.

本校 0 4 3 6 4 0 0 0 0
一二三四五六七八九
計 17

Table with 2 columns: School names and scores. Includes entries like 松高 3, 松本 1, etc.

Table with 2 columns: School names and scores. Includes entries like 松高 3, 松本 1, etc.

Table with 2 columns: School names and scores. Includes entries like 松高 3, 松本 1, etc.

ニカ合奏『愉快な牛乳屋』(トロット)
『ボエマ』(タンゴ) 指揮阿形 六、舞
踊『端唄蓬萊』小林照子、金山卓子
七、グアイオリオン獨奏『トロメライ』
『軍國子守唄』(ギター伴奏) 藤田
休藤 間奏曲、マンドリン三重奏『谷
間ノ灯』(スバニツシユセレナーデ)
日幡、宇田、阿形、税田、鹽入、宮田
第二部 一、舞踊『長唄岸ノ柳』小林
彌生、金山卓子 二、尺八合奏『收穫
ノ野』都山流會員 三、アコーディオ
ン獨奏『黒い瞳』『露管ノ唄』(合唱付)
日幡、四、舞踊『小唄お染』小林照代
金山卓子 五、ハーモニカ合奏『岡牛
士の行進』(ビゼー作曲) 指揮日幡
六、舞踊『小唄飛梅ノ賦』小林彌生、
金山卓子 七、尺八獨奏『本曲青海波』
濱田 八、ハーモニカ合奏『砂漠ヲ過
ぎ行ク隊商』(ザメタニツク作曲) 指揮
都筑

招魂社参拜 九月中數次行はれたる招
魂社参拜は本校より職員
及學生の一部が校旗と共に参拜して
於九月廿七日午前十時から招魂社に於
て行はれたる戦勝報告及武運長久祈願祭に
は三四時間目の授業を中止し全校校旗を
先頭に旗行列を行ひつゝ招魂社に参拜
した。

中島健爾君戦死す 養蠶選科三年生
島健爾君(二三)は本校在學中徴兵検査に
合格昨年一月松本本隊へ入營、本年七月
除隊、再び本校に通學中召集されて出征
し温井部隊に屬し北支に活躍中の處保定
附近南大鎮に於て名譽の戦死を遂げられ
た旨自宅より通知があつた。深甚なる感
激と弔意を表するものである。同君は上
田市外鹽尻村秋和の出身、祖父中島精一
翁は曾て小縣郡長の顯職にあたり父三郎氏
(五六)母連子氏(五三)妹たけえ氏(二〇)
がある。又兄弘爾氏(二六)も弟健爾君と
相前後して出征目下第一戦で活躍中であ
る。(寫眞は應召出發當時の中島君)



學生應召 九月中に應召せられたる學
生は十五日に當部豊(蠶二)、廿九日に市
川幸雄(蠶二選)の二君で切に武運長久を
祈るものである。

野外教練 九月廿九日より十月二日迄
四日間に亘り菅平新鹿澤方面に於て全
生徒の野外教練を行つたが職員も参加は
指揮官谷中佐、石井中尉の外校長、井上
佐藤(春)、内田、窪田、志賀、小林(尚)
湯原、宮坂、清水、春原、町田、宮原の
諸先生及諸氏であつた。演習實施の大要
左の如し。

第一日 午前八時全員校庭に集合、校
長の訓示ありて九時出發川原柳驛より電
車にて眞田に至り眞田より菅平迄行軍、
夕刻より菅平中組、蠶專スロープの間に
南北兩軍對陣夜間演習を行ひ菅平ホテル
山の家に分宿す。
第二日 午前八時菅平出發砲を冒して
山地に於ける退却、追撃戦を行ひつゝ午
後二時新鹿澤西方高地に據る敵陣地の攻
撃を以つて此の日の演習を終り新鹿澤の
各旅館に分宿す。
第三日 早朝より雨なりしも豫定の如
く實施す。東軍は新鹿澤東方二千米練塚
山に陣地を占領し敵の攻撃に備ふ。之に
對し西軍は陣地前千米附近に疎開し續い
て展開を了し猛攻、力戦遂に敵陣地に突
撃これを奪取し息をもちつゝ第二線陣地
へ突入、時に休戦喇叭吹鳴として練塚の
山腹に木靈す。昨夜同様新鹿澤各旅館に
分宿す。
第四日 午前八時雨後の新鹿澤を後に
舊鹿澤、角間時を越へ岩屋觀音にて晝食
二時二十分演習開始、横澤、眞田間に壯
烈なる遭遇戦を行ひ最後の演習を終へ再
び眞田より電車にて歸途に就く。午後五
時全員元氣旺盛歸校、校庭に於て校長の
訓示、谷中佐の所見ありて解散した。

支會通信

新京から

セルが給に變り、街頭に毛皮が人目を惹くやうになつて新京の此の頃は暑さなど何時のまにか南の方へ去つてしまひました。生き残つた蠅が淋しく天井にとまつてゐます。

今更夏の話でもありませんが、ずつと前のこと、八月の末に新京で開かれた全園作蠶絲業公會聯合總會に多數の先輩が入京せられました。丁度いゝ機会だと思つて午餐を共にするため「割烹新京」に御多忙中お越しを願ひ更に林漢龍氏と垣内源一氏を迎へて千曲會の小會を催しました。總會に出席された技術者の全部が私たちの先輩でありましたので、國務院産業部に於ける總會はあたかも千曲會上の二次會であつたのでした。

あの二日前に私は奉天に出かけて滿洲農學會に出席し、柞蠶種繭場の本間氏や滿鐵農事試験場の池田、岡、大山の三氏にお目にかゝつて来たのですが之等の諸氏に新京迄お出でを願つたらもつと盛會だつたらうに、とあとで思つたことでした。



出張したり、何かと多忙の爲御報告申上げることがおくれ、大いに責任を感じてゐるわけです。

航空便で送るののお知らせが十月なかば皆様のお目にとまりますか、どうか。切に皆様の御健在を祈ります。

(十月三日、新京にて、栗栖越)

(左は當日出席者の寫眞及び寄せ書である。寫眞右より濱香三、本間茂鏡、林漢龍、本居高行、湯川秀夫、杉浦卓三、岡崎喜雄、出野正雄、柿内源一、小松茂男、水野敏夫の諸氏である。寄せ書は版が小さ過ぎて不明瞭の箇所があるから二三拾つて説明を付ける。右上の「小松」と書いた附近には「どんなんもんだい」と書いてある。右下「會員達に四十名突破、湯川」の上に「美徳先生のお出でを待つ」とあり、左下「本間茂鏡」の次に「注、残るのはあと一ヶ月花ムコ」と書いてある。)



信濃路の残暑はなほ凌ぎ難いけふ此の頃でございます。永々御無沙汰申上げて居りました。先生には其の後お變り御座いませんか。さて先般新京に於て開かれました全園作蠶絲業公會聯合總會に多數の同窓か入京致しましたのでその好機に千曲會の小會を催しました。當日の記念寫眞一葉同

封拜送申上げます。

當日は新京産業部に於て會議などあり私はこの聯合會には關係が無かつたのですが、色々新しい事など聽かれる事と存じ出席いたしました。技術的な要所にある者は全部が千曲會員で宛も千曲會總會の感があり少からず愉快を感じた次第でした。

丁度その前日二日間奉天に於て滿洲農學會總會と學術講演があり、私も寸暇を利用して奉天に参りました。奉天では滿鐵から池田正五郎、岡卓郎兩氏に新しい大山融君を加へ本間國夫氏と私で五名集りました。滿洲、殊に新京附近ではもう朝夕の爽涼が身にしみる頃となりました。昨日蒲生先生から頂きました残暑のお見舞に信州の九月の残暑が想ひ出されました。そろそろ學校が始まり庭の草とりが行はれる頃と存じ今年もまた病理の佐藤先生が蒲荷をふるまはれることとせう。

倉澤先生の御來滿も近いことと存じお待ち申上げて居ります。過日熱河省公署の依頼に依り萬里長城附近の柞蠶適地調査の爲め湯川秀夫氏と共に出發しましたが折からの大水害の爲め途中から中止のやむなきに至りました。不日機を見て再び出發いたし度いと存じます。なほ通化省、吉林省、牡丹江省及濱江省などに適地が多い見込みです。順次實地に踏査してみたい計畫中です。入滿以來すて一年半、極めて健康に恵まれ元氣一杯立ち廻つて居ります。何卒御放念願はしう存じ上げます。

先は亂筆にてとりとめ無く失禮申上げました。末筆乍ら學校の諸先生へよろしく御傳言のほどお願ひ申上げます。なほ奥様お嬢様へはわけてよろしく御風聲賜り度く存じます。(九月八日出野正雄氏より校長宛書信)

東京支會野州校會通信

高島千曲時報か千曲時報の高島か：失敬……自稱野州支會は少なくも自分が野州入りをしてから一度も千曲時報の紙面を載した事は無い程左様に野州在住の同窓は筆不性の集りでは無い筈だが事實が證明するので左様解釋されても仕方がないと思つて居る。

現在吾が校會は正會員と軍會員の二種がある。變てすが軍會員とは假りの命名で所謂臨時軍隊生活をして居られる同窓を謂ふ。(軍會員たる者恐るゝ勿れ)最近校會の會合が大分遠退いて居るので何か機會をと狙つて居た。

恰もよし本月二日宇都宮高等農林で全園實業專門學校校長會議が開かれるとの情報を得た校會本部は早速高島へ電話した所吾等の針探校長先生もみえることを確めた。シメタ！此の機會だと瞬間獨り合點した。

先づ校長先生の御着の日時を知る必要があるので千曲會本部を煩はした所五日午後八時お着と電報が入つたので直に正會員のみ(軍會員は目下動員だの出征だので大混雑と思つて遠慮した)通信した慈父を慕ふ同窓は夕方迄に相前後して集つて一同は停車場へお出迎へした。

九月五日午後八時丁度、見えたりく墨鏢たる校長先生のお姿とその後に會員唯一巨大なる柳澤昭榮工場長の勇姿(?)一同途上軽く挨拶して校會會場へ御案内申上げた。夜遅く御着御勞れの先生を又これから幾時間か御苦勞を煩はすかと思つて一寸考へさせられたが教へ子の爲だ御辛棒を希ふことに獨り合點をきめ込んだ。

何時も時報で伺ひすると各支會の會合は酒、肴、女、歌、藝等々で底無し(程度はわからぬが)の賑かき様に何つて

居るが今宇都宮は動員、入隊、出征が毎日續いて居る。平素の様な考へてやるものなら市民に拳骨でも貰ひそうな状態なので先づ先生に事情を具し御詫びして静かに(酒と肴は音がないから別)お待遇するの許可を得て始まつた。飲んで話しては飲む内に夜半が近附いたので先生を御宿へ案内申上げた。

席上記念の撮影もした。寄せ書もした又別に誰かが云ひ出して大日の丸旗を贈つて時節柄先生に鮮やかなる御揮毫を願つた。此の縁深き國旗こそは會員中第一番の出征者に送る契約が成立した。ところが強心臓の保持者新庄檢定所長が自分が第一の出征明白だと主張し持ち歸つてしまつた。後で聞くと懇々東京へ軍裝購入に行つたらしいから本當に自分が眞先きだと自覺して御座るらしいので許すことに話がまとまつた。

今夜の出席者は 篠原善次、菅澤隆三、青木針三郎、糟谷遠三樓、新庄哲二郎、柳澤忠次、市原文雄

の七人外に猪瀬親二君が一寸挨拶に来て歸つた。多分學校の養蠶實習と思ふ。(菅澤記)



會員動靜 (十月五日)

- 行元 自忍(現職) (勤)本校學生課(住)上田市前田町
早乙女 新一郎(舊職) (勤)本校學生課(住)上田市前田町
芝 荒雄(蠶三) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
萩原 幸胤(蠶一〇) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
菅野 三郎(蠶一〇) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
增田 孝(蠶一〇) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
松原 幸彌太(蠶一四) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
橋本 博(蠶一七) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
佐藤 登(蠶一七) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
服部 令吉(蠶二二) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
小松 茂男(蠶二二) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
西澤 正一(蠶二二) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
戴 元亨(蠶二三) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
股 秋松(蠶二四) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
戸塚 一(蠶二四) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
矢田 部忠吉(蠶二二) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
大久保 秀次郎(蠶六) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
小宮山 太助(蠶八) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
富田 三郎(蠶八) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
石原 六郎(蠶一) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
渡部 齊(蠶一三) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
則信 忠夫(蠶一四) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
頼本 啓一(蠶一四) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
宮崎 弘(蠶一七) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
須永 茂(蠶一八) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
滋野 文雄(蠶一九) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
西山 省(蠶一九) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
竹内 正司(蠶二〇) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
崎山 正克(蠶二二) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
高木 晋(蠶二二) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
白井 洋介(蠶二二) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
鈴木 武夫(蠶二三) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
稻垣 文一(蠶二三) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
山木 辰雄(蠶二三) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
山口 直吉(蠶二四) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
井上一郎(蠶二四) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
高橋 眞達(蠶七) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
市原 安臣(蠶七) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
松崎 武雄(蠶一〇) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
宮下 和郎(蠶一〇) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
山田 準男(蠶一三) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
百瀬 文雄(蠶一四) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
村橋 增雄(蠶一六) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
市川 みす(蠶一六) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
川上 糸(蠶一六) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四
宮下 富子(蠶一五) (勤)從前通り(住)名古屋市昭和區見町一ノ四

千曲會々員名簿發行豫告

昭和十二年年度の千曲會々員名簿を来る十一月一日現在にて發行の豫定であります。就きましては昨年度の會員名簿に訂正を要するものは此際至急千曲會名簿係宛御一報下さい。尤も其後千曲時報にて會員動靜欄にて發表済みのものは重ねて御報告に及びません。尚ほ通知事項は次の様にお願ひ申します。

所在不明者に付き御依頼

左記會員は所在不明です。名簿調製の折柄可及的不明者を少くしたいと思ひます。御存知の方はお知らせ下さい。尚ほ念の爲め不明となりたる最後の居所を記して置きました。

投稿規定

一、内容は不問、平易なる學術研究、會員消息に關する物は特に歡迎。取捨は當方に一任せられたり。編輯の都合に依り全部又は一部を來月廻しとする事がある。

Table with columns: 寸法, 期間, 一月, 六月, 一年. Rows: 一頁, 二頁, 三頁, 四頁, 五頁, 六頁, 七頁, 八頁, 九頁, 十頁.

廣告規定

一、圖面や寄せ書は一尺八寸×一尺三寸以内とし必ず白紙に墨書して下さい。原稿紙は御請求次第送附す。普通の原稿紙を使用する場合は一行十八字、大書込まれ度。

編輯室より

本月號も又前月號と同様に原稿不足であつた。一般記事の寄稿は殆んど一編も無かつた。御寄稿を願望する事切なるものがある。

昭和十二年度蠶種案内

- 交雜種
× 龍華 仙江
× 國蠶支一九號
× 國蠶支一〇七號
× 國蠶支十六號
× 國蠶支十六號
○原蠶種
國蠶支十八號(本年度配布優良品)
分離白一〇六號(春期五粒定粒用)
國蠶支一〇六號(春期五粒定粒用)
其他一化二化共特撰品あり
病蠶無皆
優良品種、適地分場、設備完全
廣島縣御調那村綾目公栄
蠶種業 小川 保
電話市村局一四六番
振替(廣島)二四六番
振替(大阪)二七三番
電報は市村局別便配達料不要